

どんなに長く複雑な文でも、英文は基本的な構造に沿って作られています。その構造は主に五つのパターンに分けられ、これを「五文型」と呼びます。五文型以外の特殊な文型もありますが、基本的にはこの五つを押さえておけば、英文の構造を理解することができます。したがって、英文を理解するためには、まずどの文型に当てはまるかを見極めることが第一歩です。

① The cows **raised** on this farm **eat** grass and herbs **brought** in from nearby farms.

正解はeatです。残りのraisedとbroughtは過去分詞で、それぞれ直前の名詞cowsとgrass and herbsを修飾する形容詞の働きをしています。文の中核はThe cows eat grass and herbs. (その牛たちは草とハーブを食べている)で、「S(主語)+V(動詞)+O(目的語)」の文型になっています。



これで、①の英文が「この農場で育てられる牛たちは、近隣の農場から運ばれる草とハーブを食べている」ことがわかります。

「この農場で育てられる(raised on this farm)」や「近隣の農場から運ばれる(brought in from nearby farms)」のように、まとまった意味を持つひとかたまりの過去分詞は形容詞として直前の名詞を修飾しています。これは「後置修飾」と呼ばれます。このように、どの部分が形容詞であるかを理解することで、文全体の構造を正確に把握できるのです。

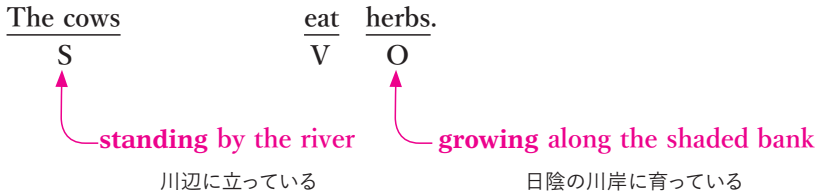
次のような例もあります。

- ② The cows **graze** in fields **surrounded by tall trees planted decades ago**. 牛は何十年も前に植えられた高い木々に囲まれた野原で草を食べる。



この文の文型はSV（主語＋動詞）です。自動詞graze（草を食べる）の副詞的要素としてin fields（野原で）が続きます。さらに、fieldsを修飾するsurrounded by tall trees（高い木々に囲まれた）という過去分詞句があり、tall trees（高い木々）にはさらにplanted decades ago（何十年も前に植えられた）という過去分詞句が修飾しています。つまり、この文では過去分詞による後置修飾が二重にかかっており、文全体の意味を豊かにしています。

川辺に立っている牛たちは、日陰の川岸に育つハーブを食べている。



このように現在分詞でも、過去分詞と同じく名詞を後置修飾することができます。文の意味を豊かにしています。

この農場で育てられる牛は近隣の農場から運ばれる草とハーブを
食べ、健康でたくましく育っている。

The cows raised on this farm eat grass and herbs brought in from nearby farms,

growing healthy and strong.

①の文に **growing healthy and strong** という語句が追加されています。この場合の **growing** は、直前の **nearby farms**（近隣の農場）ではなく、前の文全体を受けて結果を表す副詞的用法になっています。いわゆる「分詞構文」と呼ばれるもので、牛たちが草とハーブを食べた結果として健康でたく

ましく育つことを示しています。

文尾の **growing healthy and strong** は、「健康でたくましく育ちながら」と訳すこともできます。このように文がさらに複雑になっても、文の基本構造は **SV**(主語+動詞)のままです。

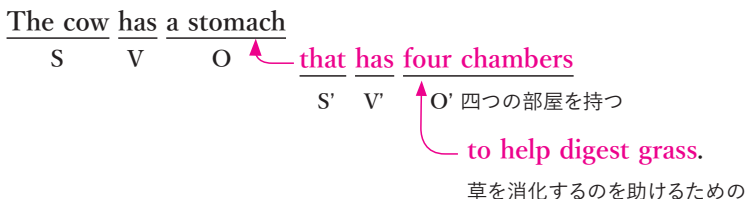
- ⑤ The cow has a stomach that has four chambers to help digest grass.

牛は、草を消化するのを助けるための四つの部屋を持つ胃を持っています。

- ⑥ The cow has a stomach where food is partially digested before being chewed again.

牛は、食べ物が再び噛まれる前に部分的に消化される胃を持っています。

いわゆる「関係代名詞」や「関係副詞」も後置修飾で、直前の名詞 **a stomach**(胃)を修飾している形容詞になっています。



文の基本は「牛は胃を持っている」で、その「胃」に **that has four chambers** (四つの部屋がある) という形容詞が、さらにその「四つの部屋」が「草の消化を助けるための」ものであるという形容詞がついている形になっています。

The cow has a stomach

S

V

O

where food is partially digested

(そこで)

食べ物が部分的に消化される

before being chewed again.

再び噛まれる前に

このように過去分詞、現在分詞、関係代名詞、関係副詞、to不定詞などが形容詞として使われることを理解すれば、文の構造が把握しやすくなります。

本書は、初級編(Part 1)・中級編(Part 2)・上級編(Part 3)の三部構成となっています。初級編では、英文を読む際の基礎となる「五文型」を、「解説」「練習問題」「読解問題」という三段階の学習サイクルを通して学びます。この「解説で学び、練習問題で確認し、読解問題で定着させる」という構成を徹底している点が、初級編の大きな特徴であり、読解の技術を習得するための揺るぎない土台となります。

中級編では、文の構造を複雑にする要素である「句と節」や、「強調構文」「倒置構文」を扱います。上級編では、さまざまな文型や構文を含む長文に取り組み、読解力を確かなものにすることを目指します。

また、本書では読解に必要な文法事項も随所で解説しているため、英文読解の学習を通して文法知識も自然に身につきます。特に読解問題には、それまでに学習した文型・構文・文法事項がふんだんに盛り込まれており、解説で学んだ内容を実際の英文の中で確認しながら確実に定着させることができます。この「学んだことを即座に実践し、血肉化する」という徹底した学習プロセスこそが、他の類書には見られない本書の大きな強みです。

本書の構成に従い、順を追って学習を進めていけば、必ずや「読解の技術」を習得できるはずです。本書が、読者の皆様の英文読解力向上の一助となれば幸いです。そして、本書との出会いが英語学習をより豊かで実り多いものとする契機となることを願ってやみません。

清水建二